



こんにちは

# 村田 けい子 です

2018.1.19  
No 137

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868

## 【議会からのお知らせ】白樺2in1の圧雪車を新たに更新 3,942万円



1. 15の臨時議会で補正予算が生まれ、圧雪車（ピステンブーリー）の更新の予算を承認しました。これまで2in1では3台の圧雪車で対応していたのですが、1台は予備機として故障の際に使用。2台のうちBR2000と呼ばれている圧雪車が故障が多く、修理費用がかさんでいました。（修理費 H28 342万円、H29 137万円）この頃ではエンジン出力低下で作業できない状況となり、エンジンが停止するトラブルが起こっていました。リースも検討しましたが

購入の方が約456万円安いということもあり、購入に踏み切りました。この圧雪車を下取りに出し（30万円）あらたに国際スキー場でも利用しているピステンブーリーPB400Parkを購入することになりました。この圧雪車はH25年1月に中古で購入したH16年製造のもので、12月28日までにすでに7,000時間は超える稼働時間となっていました。通常の更新期間は一般的に8,000時間の運転時間が平均となっていますが、2in1スキー場は 38.2haで通常よりも過酷な稼働となっていました。

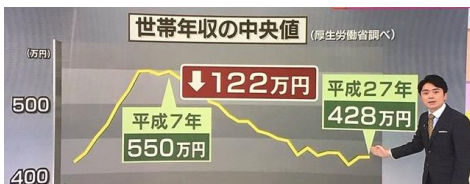
町のスキー場は、パウダースノウの良質な雪質、管理の行き届いたゲレンデ整備を売りにしているということで、圧雪車の更新により、利用者に喜ばれるゲレンデづくりができるようになります。

## 進む「貧困化」

NHKでも取り上げられたという賃金の下落傾向。貧困化はますます急加速です。

今度2/20日(火)夕方6:15～ 藤田孝典氏の講演があります。「拡がる高齢者の貧困と脅かされる生存権～下流老人にならないために」という講演会です。丸子文化会館で。氏は『下流老人』続『下流老人』の著作もあり、そこそこ貯蓄している人でも、高い医療費や介護費などですぐに貯金が底をついて、貧困に転落する危険性を説いています。

(NPO法人ホットプラス・半貧困ネットワーク埼玉代)



## 分断越えて組織を —貧困の克服のためには。

「社会保障を抜本的に充実するとともに雇用の脆弱(ぜいじゃく)性を修復することが急務です。そのためには市民が分断を乗り越え、「組織」をつくって手を取り合っていく必要があります。

自衛隊を海外に派兵する安保法制では、これまでにない共闘が広がりました。生活や社会保障の課題でもそういう方向に持っていきたい。ぼくは「資本論」を書いたマルクスのように、「社会は変えられる」と信じています。」

(藤田さんの記事しんぶん赤旗1月14日号より)

スキー場利用者、前年より約5,000人増えています。(1/8まで)

35,129人来場！前年より +4,867人  
売り上げは 109% +741万円  
雪不足の先々シーズンより147%  
2700万円余の売り上げ増です。

### 年代別 貯蓄ゼロ世帯

年代	割合 (%)
20 歳代	59.3
30 歳代	47.3
40 歳代	50.1
50 歳代	46.4
60 歳代	33.5



ただ今  
注文中！

今月のパチリ

わら細工名人のRさん宅、玄関に入るとネコつぐらがお出迎え、大小様々あります。現在挑戦中とのこと。我が家用に一つお願いしました。早く出来るといいな。我が家のタマちゃんにプレゼント予定です。作るたびに進化していました。